

まぶこ

公益社団法人 岐阜病院 広報誌

第

43

号



病院理念

私たちは、
真心をこめて
医療福祉サービスを
提供します。

CONTENTS

- 中国杭州文仲中医医院との姉妹病院提携について
- 敷地内全面禁煙についてのお願い
- 動画で紹介 うつ病のTMS治療
- 受診・入院のご相談など
- 外来担当表



公益社団法人
岐阜病院

杭州文仲中医医院様と♪ 姉妹病院提携を締結しました!

経緯

公益社団法人 岐阜病院
院長 石井 俊也



今回、当院は杭州文仲中医医院と姉妹病院提携を締結いたしました。

このようなご縁を結ぶことができたのは、杭州文仲中医医院の蔣敏海先生、松波総合病院特別顧問の冨田栄一先生、そして岐阜市民病院特別診療顧問・認知症疾患医療センター長の犬塚貴先生のお力添えによるものです。

中国の杭州市と岐阜市は姉妹都市関係にあります。そのご縁から、杭州市の杭州人民病院と岐阜市民病院は以前より交流を続けてきました。

杭州人民病院に勤務されていた蔣先生（日本への留学経験あり）と、岐阜市民病院元院長の冨田先生は、20年来のご友人とのことです。

蔣先生はその後、杭州文仲中医医院へ移られました。中国でも高齢化が進み、同医院では認知症専門病棟の開設が急務となり、日本での認知症診療の見学を希望されました。その際、蔣先生は冨田先生にご相談され、冨田先生は古巣である岐阜市民病院の犬塚先生に相談されました。犬塚先生からは、認知症の入院診療については当院での見学を勧めていただきました。

その結果、令和6年11月に蔣先生をはじめ杭州文仲中医医院の皆様が当院を見学され、当院の診療や看護について高い評価をいただきました。今後も当院から学びたいとのご希望を受け、姉妹病院提携の締結を申し出ていただきました。

そして令和7年8月、中国杭州市にて姉妹病院提携の締結式が執り行われました。

冒頭にも記した通り、3名の先生方のお力がなければ姉妹病院提携の締結には至りませんでした。また、当院の認知症診療が外部から一定の評価を受けていなければ、やはり締結には至らなかったでしょう。

私たち職員一同は、今後も患者様、そのご家族、他の医療機関、介護施設などから良い評価を受けられるように、認知症診療に取り組んでまいります。



杭州の印象

公益社団法人 岐阜病院
理事長 鈴木 祐一郎



このたび8月23日から25日にかけて、中国浙江省杭州市にある文仲中医医院と岐阜病院との間で、提携契約を交わすため杭州市に訪れました。提携を結ぶことになる経緯については、この広報誌の左記の部分に譲って、ここでは中国を訪問した私の印象を点描風に書いておきたいと思っています。

杭州市と岐阜市が姉妹都市の関係にあるということは、今回のことで初めて知りましたが、人口が800万人を超える大都会と岐阜市との比較では、少なからず都市の格が違って気恥ずかしいような気持ちにもなりました。杭州は高層ビルが立ち並ぶ大都会であると同時に、南宋（1127年～1279年、岐阜の織田信長より随分昔ですね）の首都でもあった歴史的な由緒もあり、洗練した文化を感じさせる街でもありました。広い中国でも観光都市として1、2番目の人気だそうで、街並みも緑豊かで人の賑わいも特別なものがあるのに、街路にゴミ一つ落ちていないのは、アジアの都市では珍しいことでした。ほとんど見かけることのなかった乞食ですが、唯一遭遇した当該職業の人が、QRコードで喜捨を求めているのには驚きました。それぐらい電子決済が普及しているわけですね。

提携契約の式の後、文仲中医医院側の窓口となっていた蒋先生ご夫妻に案内していただき、西湖の観光に出かけました。季節が夏で暑かったのは少し残念でしたが、春や秋に家族と再訪しても良いだろうなと思う素晴らしい所でした。



中国は私にとって初めてでしたが、それまで抱いていた中国に対するイメージが塗り替えられました。杭州市、あるいは浙江省は中国の中でも豊かな土地柄だとは聞くものの、それにしてもその現代的発展とそこで生活する人々の表情や身のこなしに現れている落ち着きといったものが、それまで私の中にあった中国像を刷新するのに十分なものでありました。日本の多くの人は忘れているでしょうが、何と言っても、日本は80年前に15年間戦った戦争で中国に負けているのです。国土の広さ、歴史の長さ、人口の多さ、またそこに住む人々の多様さ、そういったものに太刀打ちできるだけのものが、昭和初期のそして現在の日本にあるのか、と心許ない思いが湧いてきました。

文仲中医医院の先生方やスタッフの方たちが、この両病院の提携で求めているものは、日本の病院スタッフの患者様やご家族に対する接遇、そのノウハウなのだということも、杭州の現地を訪れて初めて了解できました。しかしそれを求められて改めて、我が身を点検しなければならないと思いました。何故なら教えを垂れるほどのことが、我々に於いて常時できているとは言い難いからです。

何れにしても提携に始まる交流とは、異なる背景を持つ者同士が、お互いの良きところを見つけ合って改善すべきところを改善して、そして驚き合う関係を持つことだと思った次第です。

敷地内全面禁煙



当院では、健康増進法に基づき、より良い療養環境を提供する病院として、禁煙活動の推進を図り、病院敷地内を全面禁煙としております。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

また、当院では「禁煙外来」を行っております。

受診・入院のご相談、クリニックからの患者様ご紹介・検査など 窓口

受付時間 平日9:00～17:00

●認知症に関する受診相談

認知症疾患医療センター

☎058-247-2118(直通)

●精神科に関する受診相談

地域連携室

☎058-259-3366(直通)

「初めて受診したい」といったご相談・ご予約にも応じます。
クリニックからのご紹介は来院日を調整いたしますのでお問い合わせ下さい。

予約申込票 送付先

FAX 058-259-3376

書式は当院ホームページの地域連携室からダウンロードできます。
※土日祝および平日夜間に送付頂いた分は、翌営業日の対応になります。ご了承下さい。



外来担当表(令和7年10月現在)

	月	火	水	木	金
1 診	初診	初診	初診	初診	初診
2 診	淡路	石井院長	吉田	淡路	真鍋
3 診	宮崎	勝	深尾(希)	南谷(陽)	村橋
4 診	前田	吉田	南谷(陽)	前田	山舗
5 診	平田	山舗	村橋	宮本	山田
6 診	安楽	鈴木理事長	土野	土野	丹羽
7 診		宮本	丹羽	藤本	廣田
8 診		廣田	平田		
午後診療 (再診のみ) 13:00～15:00	宮崎 本間	須磨 山舗	深尾(希)		本間

当院ではうつ病に対するTMS治療を行っています。



動画で紹介 うつ病のTMS治療

TMS治療のご相談は、
主治医または地域連携室まで
TEL 058-259-3366(平日9:00～17:00)

編集後記

昼間はまだまだ暑い日がありますが、夜は虫の声が聞こえ、さわやかな風に秋を感じられることが増えてきました。皆様体調に気を付けて健やかに過ごしてください。

広報委員

公益社団法人 岐阜病院

広報誌まごころ 令和7年10月発行



〒500-8211
岐阜県岐阜市日野東3丁目13番6号
☎058-245-8171 FAX 058-246-6824
<https://www.shadan-gifu.or.jp>